

天文学とプラネタリウム

第 88 回



今月のお題

天プラ、丸の内に進出中



天プラがじわじわと丸の内に進出中です。今回はそのご報告。

まるのうち宇宙塾、7月以降も開講します！



www.tenpla.net

高梨直紘 (東京大学)
平松正顕 (国立天文台ALMA推進室)

『天文学普及プロジェクト「天プラ」による、天球儀を作るワークショップが間もなく開催されます…』

ここは休日の買い物を楽しむ家族連れやデートを楽しむカップルで賑わう、丸ビル。東京駅前にある、あの有名な丸ビルです。その館内放送で流れていたのが、冒頭のアナウンス。おしゃれなビルに流れる放送としては多少の違和感は否みませんが、決して聞き間違えや私たちの妄想ではありません。今回のコラムでは、最近進出著しい東京の表玄関、丸の内地区での活動についてレポートしたいと思います。

きっかけは丸の内さえずり館

実は、以前より丸の内地区ではこつこつと活動が行われてきました。有楽町駅にほど近い「丸の内さえずり館」で、天プラのコアメンバーのひとり、内藤誠一郎さんを中心に季節毎の星空観測会を行っていたのです。2009年にあった世界天文年の時には、1ヶ月間ほど会場をお借りして、天文展示や講演会を企画したこともあり

ました。しかしながら、東京都心の丸の内まで、三鷹を中心に活動(生活)する私たちが出張してくるのはたいへんで、さらに積極的に何かイベントを…ということは、あまり考えていませんでした。

状況が変わったのが昨年。コラム執筆者のひとり、高梨のオフィスが東京都心に移り、都心での活動も活発化し始めました。六本木ヒルズでの活動もそのひとつですが、ビジネスの中心地である丸の内でもなにかイベントを…と考え、まず始めたのが、以前にもご紹介した「まるのうち宇宙塾」でした。このイベント、お陰様で毎回キャンセル待ちの状態です。そう、丸の内にも天文学ファンがたくさんいたのです！

調子に乗った我々が、次に目をつけたのが「丸の内カフェ」。ここは、名前の通り丸の内にあるカフェなのですが、さまざまなイベントも行っており、そこに話を持ち込みました。こちらでは、七夕の日に天文講演会を行ってきました。参加された方の9割は女性！また新しいジャンルを開拓できた気がします。

そして冒頭の丸ビルでのイベントです。マルキューブと呼ばれる1Fのオープンスペースで、



まるのうち宇宙塾の様子。ゲストスピーカーとの距離が近いのも、この講演会の特徴です。
<http://www.tenpla.net/maru/>

七夕から4日間、Mitakaを使った宇宙の話と天球儀のワークショップを計16回行ってきました。いや、暑かったし熱かった。高級マンションの分譲等を行っている会社の主催する七夕イベントに合わせて行ったのですが、家族連れの方やカップル、ご高齢の方など、幅広い層の方にイベントを楽しんでいただけたようです。

これらのイベントの手応えが上々でしたので、引き続き東京都心での活動、いろいろ挑戦していきたいと思います。どうぞご期待あれ！